



『食堂は教育の場』  
～ 弘学館の給食は、好き嫌いなくすべてを楽しく  
食べる子どもを育てることを主眼としています。～

2021年10月 弘学館 給食室

耳を澄ませば虫の声が聞かれ、気持ちのよい季節になりました。芸術や読書に親しんだり、スポーツを楽しんだり、秋を満喫しましょう。

## 10月16日は、国連が制定した 『世界食糧デー』です！



10月16日は世界食料デー。国連が定めた「世界の食料問題を考える日」です。日本では2008年から10月を「世界食料デー月間」として、飢餓や食糧問題についてのさまざまなイベントが開催されます。

今世界では、すべての人が十分に食べられるだけの食料が生産されているのに、10人に1人が十分に食べられていません。一方で、世界では毎年、食用に生産されている食料の約3分の1が、食べる前に無駄になったり、捨てられています。

世界食料デーをきっかけに、私たちが毎日食べているものはどこからきているのか考え、作ってくれた人に感謝したり、世界中のみんなが食べられるような世界にするには何ができるのか考えてみましょう。

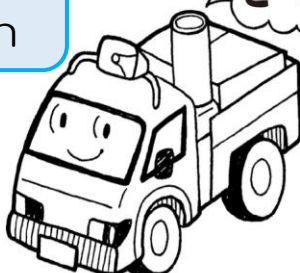
## 秋の味覚を楽しみましょう！

秋は、日本人の食生活に欠かせない米が収穫される季節です。また、柿やりんごなどの果物が実り、ぎんなんやくり、さつまいもなどさまざまな秋の味覚を楽しむことができます。

おいしい物が豊富な秋にいろいろな味を楽しんでみては？



食べ物  
Question



どうして石焼きいもはおいしいの？

それは、加熱した小石の中にいもを入れて低温でじっくりと時間をかけて焼くためです。さつまいもの甘みはでんぷんが糖に変化したものです。この変化は低温（65度前後）でより活発になるため、甘みが増すのです。

※イラスト等、少年写真新聞社刊 食育ブックより